

## 平成28年度 第2回那須塩原市男女共同参画審議会 議事録（概要）

日 時 平成28年10月4日(火) 午前10時～12時

場 所 那須塩原市役所 3F 303会議室

出席委員 陣内会長、柳場委員、笹川委員、樋山委員、益子委員、高橋委員、  
大貫委員、菊地(あ)委員、月江委員、大畠委員、児玉委員、森田委員  
室井委員、臼井委員、加藤委員 計15名

欠席委員 渡辺委員、蟹江委員、島田委員、菊地(正)委員、藤田委員 計5名

事務局 藤田企画部長 室井市民協働推進課長、江連男女共同参画係長、市川主事

傍聴者 4名

### 【会議次第】

1. 開 会
2. あいさつ
3. ビデオ上映
4. 議 題
  - (1) 第3次那須塩原市男女共同参画行動計画の素案について
  - (2) その他
5. その他
6. 閉 会

### 【配付資料】

- 審議会委員名簿
- 会議次第
- 資料4（行動計画素案の訂正）

### 【事前に配布した資料】

- 資料1：第3次男女共同参画行動計画の構成（案）
- 資料2：第3次男女共同参画行動計画の体系（案）
- 資料3：第3次那須塩原市男女共同参画行動計画（素案）

1. 開 会（室井市民協働推進課長）

2. あいさつ（陣内会長）

3. ビデオ上映

『気づくことがはじめの一步 ～男女共同参画社会を築くために～』

東京シネ・ビデオ、2003年3月28日

4. 議 題

（1）第3次那須塩原市男女共同参画行動計画の素案について（進行：陣内会長）  
資料に沿って説明（江連補佐）

<質疑応答・意見等（要旨）>

0. 資料3 p.31～32 施策の方向Ⅲ-3「就労の場における女性の活躍推進」に関して、経営者や管理職女性に対する支援等があると良いのではないか。

0. 男女共同参画社会に関する取組の「見える化」が重要である。

0. 「子どもにとっての男女共同参画」が重要ではないだろうか。愛知県では「子どもの男女共同参画」をテーマとした事業を行っている。

那須塩原市を見てみると、「子ども」に関する事業は縦割り制で教育委員会・生涯学習課に委ねてしまっているように思う。より連携して子どもたちへの働きかけをすると良いのではないか。

0. 資料3 p.2「計画の位置付け」において、本行動計画は「第4次男女共同参画基本計画」（国）や「とちぎ男女共同参画プラン〔第4期計画〕」（県）に基づいている。国の計画では第8分野で「貧困」、県の計画では第4章基本目標Ⅲで「貧困」に言及しているが、那須塩原市の計画では「貧困」の文言が見当たらない。市の計画にも「貧困」を取り上げてほしい。

A. 「貧困」に関して取り上げられるかどうか検討する。

0. 資料3 p.7「市の施策の認知度」において、男女共同参画広報紙「みいな」の認知度は30.5%（平成27年度）となっているが、広報紙は「男女共同参画」について知るためのきっかけとなるものだと考える。p.34「計画が目指す目標値」において「みいな」の認知度に対する目標値（平成33年度）を33.5%としているが、もう少し目標値を上げてよいのではないか。

A. 男女共同参画広報紙「みいな」の認知度は、平成22年度が28.9%、平成27年度

が 30.5%であり、5年間で 1.6%の上昇であった。実情にあった目標値を定め、認知度を高めるよう努めていきたい。

0. 男女共同参画広報紙「みいな」の発行回数について、年 4 回から年 6 回に増やすことなどによって、認知度をあげることができるのではないかと。

0. 「みいな」は男女共同参画に関する身近な活動などが取り上げられているため、取材・編集等の関係から発行回数を増やすことは難しいのではないかと。

0. 「男女共同参画」という言葉ではなく、「男女共生活動」という言葉で取組を行っている。「男女共生活動」に関する広報物を女子トイレに掲示していたが、男子トイレにも掲示するべきでは、といった意見もあった。女性だけでなく男性への周知も重要である。

0. 男女共同参画の視点から、経営者は 3 通りに分けられると考える。

一つ目は、従来の仕事優先の経営者。二つ目は、ワーク・ライフ・バランス等に理解がある経営者。三つ目は、ワーク・ライフ・バランス等に理解があり、かつ、自身で実践する経営者である。経営者が率先してワーク・ライフ・バランス等を推進する企業は中長期的に生産性などが高いのではないかと考える。そのため、管理職に対する男女共同参画の周知が必要である。

0. 男女共同参画社会について、小学校から学ぶのでは遅いのではないかと。保育園等から学ぶ機会があると良いのではないかと。

また、出産時における講習の時などに夫婦で男女共同参画を学ぶ機会があると良いのではないかと。

A. 母親学級や就学时検診などにおいて、親学習プログラム活用の研修等を行っている。

0. p. 14<課題>に関して修正前の表記の方が良かったのではないかと。具体的な課題が示されている方が良い。

A. 表記について検討する。

Q. 次期行動計画策定はどのようにして行ったのか。

A. 計画策定に関する庁内組織として、策定部会にて各事業担当による素案の作成、幹事会・本部会にて内容の検討調整を行った。

Q. 策定に関して女性はどれほど関わっているのか。

A. 素案作成に係る策定部会では部員 23 名中、女性は 18 名、男性は 5 名となっている。

Q. 会議等はどれくらいの頻度で行ったのか。

A. 部会等は各 2 回実施。まずメール等にて各事業担当課と調整しながら事業を洗い出し、部会等を経る度に、担当課と調整を行った。

Q. 重点計画・ポイントは何か。

A. 基本目標Ⅰの「ワーク・ライフ・バランス」、基本目標Ⅲの「女性の活躍推進」等を重点的に進めていきたいと考えている。

Q. 力を入れた事業に関して、達成度など、変化を分かりやすく報告できると良いのではないか。

A. いただいた意見を取り入れながら、年次報告において公表するよう努める。

Q. 市男性職員で1か月の育児休暇を取得した職員がいた。市では男性職員が育児休暇等取得するための研修や制度があるのか。

A. 近年の職員研修においては、管理職向けにイクボスやワーク・ライフ・バランスについての研修を、若手職員向けにイクメン・カジダンやワーク・ライフ・バランスについての研修を行っている。

Q. 安心して働けるようなサービス・サポートの充実が必要である。社会に出ると男女は平等ではなくなってしまうため、企業などでは新採のうちに男女共同参画に関する教育を行うと良いのではないか。

Q. 本日上映したビデオは13年前に作製されたものだが、未だに気づきのある内容であった。映像内にもあったように男女共同参画はシニア層へ十分に浸透しているとは言えない。しかし、生涯学習活動や地域活動では高齢者の参加率は高い。そのため、生涯学習講座などにおいて、男女共同参画について学ぶ機会があると良いのではないか。

A. 生涯学習課等関係課と連携を図っていきたい。

Q. 男女共同参画の取組成果が「見える化」すると良い。女性のパフォーマンスを那須塩原独自に実証化できたら良いのではないか。また、男女共同参画は全てのものが関連した問題である。男女共同参画意識が浸透するには時間がかかるが、地道に取組んでいく必要がある。取組は網羅的になおかつ重点的に取組む分野を見据えながら行っていく必要がある。

## (2) その他

### ①今後の予定について（事務局）

10月20日（木）～11月18日（金）パブリックコメントを実施。

12月中に答申をいただきたい。

提案・質問がある場合には提案・質問書へ記入のうえ事務局まで。

### ②男女共同参画フォーラムのお知らせ（柳場委員）

日時：12月4日（日）午後1時30分より 会場：三島ホール

5. その他（事務局）

- ・ 事務手続きに関する書類提出等の依頼

6. 閉 会（室井市民協働推進課長）